

台北日本人学校 校長室便り

家庭数配布

令和2年9月25日
台北日本人学校長 近藤裕敏

○9月の台北日本人学校

明日で前期が終了します。防災の9月は火災の避難訓練から始まりました。教室から体育館へ避難する子供たちがハンカチでマスクの上から口を押えている姿を見て、おもわず私もハンカチを出しました。あわてず騒がず落ち着いて避難する姿が印象的でした。春はコロナの関係でメール連絡の訓練としましたが、16日の一斉出迎え訓練は皆様のご協力により無事に行うことができました。子供たちは「特別な荷物が届きました」の合言葉で訓練を始めました。体育館で弟・妹の横



にお兄ちゃん・お姉ちゃんが寄り添って保護者の皆様のお迎えを待っている姿は、訓練なので不謹慎だと言われそうですが、微笑ましい姿でした。自然災害も当然ですが人的災害（犯罪・テロ・他国からの攻撃など）もいつ起こるかわかりません。またここは海外ですから、常日頃からの危機意識と訓練の繰り返しが大切です。今後ともご協力をお願い致します。



オープンスクールではお子様の学習状況をご覧いただけただけでしょうか。今年度初めてのオープンスクールでしたので、子供たちも保護者の皆様を待ちかねていて、親に見られてほっと安心した顔や、いつも以上に緊張した顔つきがみられました。授業中は子供たちもやる気十分で、手を挙げる勢いも格別でした。学習成果の発表会ではありませんでしたが、子供たちにとっては学校でのがんばりを親に伝えられる一番の機会でした。下校時に保護者の皆様とお話ししながら帰る子供たちの笑顔に、一生懸命勉強した満足感があふれていました。もちろん21日の月曜日子供たちは元気いっぱい学習していました。ご参観いただきありがとうございました。

小学部は17日に小学部朝会を行いました。放送委員会からは毎回の放送についての工夫を、また運動委員会からは竹馬と一輪車の利用促進について実演を交えたアピールがありました。どちらも委員会活動に責任を持ち、活動を通してより充実した学校生活にしようという意欲にあふれていました。詳細はHPをご覧ください。また中学部では14日に生徒会役員選挙があり、生徒会を通して中学部（学校）生活をより質の高いものにするための決意表明がありました。立候補者全員が信任され、後期から活動を開始します。小学部も中学部も子供たちの前向きな活動により、さらに充実した後期を創り出すことを楽しみにしています。



23日にはJAL航空教室が開かれました。キャリア教育として小4と中1それぞれがCAさん、整備士さんのお話を興味深く聞きました。また4年生は恒例の紙飛行機大会でプチ空の旅を、中1生は整備士体験を楽しみました。貴重な時間をくださったJALの皆様、ありがとうございました。



○後期に向けて

後期はSFで始まります。10月25日に士東國小グラウンドで開催します。もうすでに当日に向けて、表現活動に小学応援団、中学ダンスとそれぞれが練習に励んでいます。コロナ対策の元での実施なのですが、士東國小の協力のおかげで充実した一日にできそうです。詳細は後日お知らせします。保護者の皆様には応援や昼食等でお世話をおかけしますが、よろしくお祈りします。

○お知らせ

今回もオリジナルグッズのお知らせです。校章入りの不織布バッグを作りました。現地校との交流会やお客様にお渡しするものです。台北日本人学校のスクールカラーである紺色地に校章がよく良く目立ちます。荷物が増えたときやちょっとした買い物袋としてよろしければお使いください。一つ30円で事務室においでいます。また10月28日に全校保護者会を行います。例年は春に実施していますが、今年は後期からの学校の取組みと新校舎建設に関してご説明します。



5月から今までに48名の皆さんが本校を去られました。この終業式にも7名が帰国されます。名残惜しいですが、本校でできた絆は一生物です。皆さんの安全とご活躍をお祈りしています。